

株主資本等変動計算書

第61期（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差 額金			評価・換 算差額等 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 計	利益 準備金	その他利益剰余金 固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金							利益 剰余金 合計
平成26年4月1日 期首残高	100,000	1,128,995	848,775	1,977,770	61,000	138,806	△375,253	△175,446	△26,805	1,875,519	11,003	11,003	5,246	1,891,769
事業年度中の変動額														
その他資本剰余金から繰越利益剰余金への振替			△175,446	△175,446			175,446	175,446		-				-
固定資産圧縮積立金の取崩						△3,237	3,237	-		-				-
当期純利益							285,420	285,420		285,420				285,420
新株予約権の行使			4,185	4,185				-	12,209	16,395				16,395
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）											△848	△848	971	122
事業年度中の変動額合計	-	-	△171,260	△171,260	-	△3,237	464,104	460,867	12,209	301,816	△848	△848	971	301,939
平成27年3月31日 期末残高	100,000	1,128,995	677,514	1,806,510	61,000	135,569	88,851	285,420	△14,595	2,177,335	10,154	10,154	6,217	2,193,708

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

第61期（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

（単位：千円）

科 目	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	765,844
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	134,519
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 784,565
IV 現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	115,799
V 現金及び現金同等物期首残高	840,379
VI 現金及び現金同等物期末残高	956,179

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

SD エンターテイメント株式会社

〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番地
TEL 011-241-3951

第61期 報告書

（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

SD エンターテイメント株式会社

事業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や原油価格下落によるプラス影響等により、雇用・所得環境の改善傾向がみられるなかで、緩やかな景気の回復基調が続いております。しかしながら、個人消費については前半は消費税増税の駆け込み需要の反動、後半は円安のマイナス影響等により、インバウンドの購買力の強さと比較すると、わが国の消費はまだ回復途上のまま推移しました。

このような状況のなか、平成26年5月23日、当社の強みや健康グループとのシナジーを最大化し、企業価値・株主価値向上へ向けての方針を発表した「健康コーポレーションとの戦略的事業資本提携」にもとづき、「健康グループ」の経営理念であり、当社の経営の基本方針である「皆様の「けんこう（KENKOU）」をつくり、「えがお（EGAO）」と「かがやき（KAGAYAKI）」と「ありがとう（ARIGATOU）」を創造し続け、世界中に広めます。」の経営理念のもと、経営の効率化を図り、一層の収益力の強化に取り組んでまいりました。

平成26年7月1日に社名を「株式会社ゲオディノス」から「SDエンターテイメント株式会社」に変更し、ブランド名「スガイディノス」を復活させたのを機に、アルバイト従業員まで含めた店舗毎のインセンティブ制の導入などの営業活性化策をはじめ、不採算施設の改革に着手しました。また、一方では、休止固定資産関連費用の出血を全て止めたことをはじめ、様々な分野における固定費の圧縮にも取り組み、ゲオショップ内のゲームコーナーであるリトルパーク事業を前グループ会社に資産譲渡したこと（以下、「LP資産譲渡」という。）や不採算店舗の撤退等に伴う売上減を補うべく、事業部制の筋肉質な組織に体質改善いたしました。さらには、会員向けスマホアプリの「ディノスアプリ」をリリース、同アプリを使ったビンゴゲームを実施するほか、工夫をこらした各種イベントを実施しました。

その結果、当事業年度売上高は73億63百万円（前事業年度比10.7%減）、営業利益は3億22百万円（同20.1%増）となり、経常利益は1億78百万円（同53.4%増）、当期純利益は「LP資産譲渡」に伴う固定資産売却益1億45百万円を特別利益に計上したことにより、2億85百万円（前事業年度は減損損失4億2百万円の計上により純損失4億84百万円）となりました。

事業部別の概況

（GAME事業部）

GAME事業部につきましては、業界全体に活況を与える程の大ヒットタイトルはなかったものの、当社ではUFOキャッチャーに代表されるクレーンゲーム機に「アナと雪の女王」や「妖怪ウォッチ」等の人気のアイテムを積極的に導入したことや10円キャッチャー等店舗別の特長を活かした施策で効果を上げるなど、既存店は比較的堅調に推移しました。一方で、「LP資産譲渡」したこと、消費税増税分を料金転嫁していないこと、不採算店舗を閉店（「ディノスパーク 釧路町店」（平成26年6月）、「ディノスパーク 旭川買物公園店」（平

成26年11月）及び「ディノスパーク コザミュージックタウン店」（平成27年1月）したこと等、計画に織り込み済みの減収要因により、売上高は24億44百万円（前事業年度比23.2%減）となりました。

（フィットネス事業部）

フィットネス事業部につきましては、当社オリジナルのプロテインを新たに開発し12月に販売を開始しました。また10月1日から店舗名を「ゲオフィットネス」から「SDフィットネス」へのブランド変更実施を機に全店一斉にスタートした入会キャンペーンが成功し、会員数は急速に回復しましたが、第2四半期累計期間までの新規会員の獲得率低下や一部競合店出店の影響等の要因により、売上高は22億81百万円（同4.1%減）となりました。

（ボウリング事業部）

ボウリング事業部につきましては、「健康ボウリング」を掲げて、積極的にシニア層の取り込みを進め、LTB（Learn to Bowling）と呼ばれるボウリング教室などの施策の拡大を実施しました。また、札幌市中心部の2店舗ではDで場内を盛り上げ、アルコール販売強化を目的としたイベントガールを投入し、「パーティ・ボウリング」を推進しました。しかしながら、ボウリング業界の全国的な来場者数鈍化や競合店との競争激化の影響等による利用者の分散等により計画を下回り、期初計画に織り込み済みのピリヤード1店舗閉店（平成26年2月）等の影響も加わり、売上高は11億35百万円（同6.9%減）となりました。

（施設管理事業部）

施設管理事業部につきましては、「シネマ」部門において、平成26年3月に公開した「アナと雪の女王」や同12月に公開した「映画 妖怪ウォッチ 誕生の秘密だニャン！」及び「ベイマックス」が大ヒットしたことなどにより計画を上回り、売上高は8億7百万円（同7.6%増）となりました。また、映画館の多目的活用の一環として、謎解きをしながら館からの脱出をはかるというアトラクション「脱出ゲーム」を試験的に実施しました。「その他」に分類している賃貸施設管理部門においては、札幌市内のピリヤード店だったスペースをグループ会社が運営しているパーソナルトレーニングジム「RIZAP（ライザップ）」に賃貸（平成26年4月）し、不動産賃貸収入が増加したことなどにより、売上高は2億64百万円（同18.4%増）となりました。

（その他）

その他のカフェ事業等につきましては、店舗名を「ゲオカフェ」から「ディノスカフェ」にブランド変更し、新しい飲食メニューの強化で単価が上昇したことや各種企画の開催等で、集客、客単価ともに既存店は堅調に推移しました。しかしながら、不採算店舗であった「ゲオカフェ 秋田東通店」（平成25年11月）及び「ゲオカフェ 宮音羽店」（平成25年12月）を閉店したことなど、期初計画に織り込み済みの減収要因により、売上高は4億29百万円（同12.3%減）となりました。

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
	第61期 平成27年3月31日現在	第60期 平成26年3月31日現在		第61期 平成27年3月31日現在	第60期 平成26年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,383,922	1,280,071	流動負債	3,033,296	3,644,591
現金及び預金	956,179	840,379	買掛金	144,393	166,597
売掛金	148,237	130,573	短期借入金	250,000	420,000
商品及び製品	28,686	34,372	一年内償還予定の社債	908,800	622,800
原材料及び貯蔵品	74,715	76,787	一年内返済予定の長期借入金	683,060	935,850
前払費用	78,384	81,553	一年内返済予定の長期未払金	130,035	454,799
繰延税金資産	72,787	72,125	リース債務	220,883	301,720
未収入金	14,956	43,936	未払金	281,122	303,792
その他	10,075	1,352	未払費用	159,642	103,122
貸倒引当金	△ 100	△ 1,010	未払法人税等	25,970	30,305
固定資産	8,182,529	8,590,906	未払消費税等	103,586	16,912
有形固定資産	6,719,912	7,099,464	前受り金	64,410	67,614
建物	3,094,657	3,291,597	預り金	31,873	34,843
構築物	37,689	41,713	賞与引当金	12,757	29,508
機械及び装置	22,883	23,764	ポイント引当金	8,750	7,900
アミューズメント機器	276,304	352,201	事業構造改善引当金	891	137,889
車輛運搬具	112	112	その他	7,118	10,934
工具、器具及び備品	79,692	88,497	固定負債	4,418,182	4,394,530
土地	2,680,490	2,680,490	社債	2,653,000	2,012,800
リース資産	528,081	621,086	長期借入金	998,625	1,488,885
無形固定資産	49,976	45,912	長期未払金	160,396	253,009
のれん	450	2,783	リース債務	291,286	289,975
ソフトウェア	39,841	33,034	長期前受収益	6,573	12,428
電話加入権	9,350	9,350	繰延税金負債	72,147	106,621
その他	334	743	長期預り敷金	69,782	62,695
投資その他の資産	1,412,640	1,445,530	長期預り保証金	29,099	30,764
投資有価証券	50,435	44,853	長期リース資産減損勘定	-	5
出資金	566	1,466	資産除去債務	137,272	137,346
長期貸付金	144,045	165,529	負債合計	7,451,479	8,039,122
長期前払費用	74,159	39,371	(純資産の部)		
差入保証金	1,143,328	1,197,061	株主資本	2,177,335	1,875,519
その他	105	98	資本金	100,000	100,000
貸倒引当金	-	△ 2,850	資本剰余金	1,806,510	1,977,770
繰延資産	78,736	59,913	資本準備金	1,128,995	1,128,995
社債発行費	78,736	59,913	その他資本剰余金	677,514	848,775
資産合計	9,645,187	9,930,891	利益剰余金	285,420	△ 175,446
			利益準備金	61,000	61,000
			その他利益剰余金	224,420	△ 236,446
			固定資産圧縮積立金	135,569	138,806
			繰越利益剰余金	88,851	△ 375,253
			自己株式	△ 14,595	△ 26,805
			評価・換算差額等	10,154	11,003
			その他有価証券評価差額金	10,154	11,003
			新株予約権	6,217	5,246
			純資産合計	2,193,708	1,891,769
			負債及び純資産合計	9,645,187	9,930,891

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第61期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	第60期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
売上高	7,363,531	8,245,483
売上原価	1,331,458	1,799,309
売上総利益	6,032,072	6,446,174
販売費及び一般管理費	5,709,242	6,177,316
営業利益	322,829	268,857
営業外収益	17,687	22,763
受取利息及び配当金	3,424	4,168
アミューズメント機器売却益	3,330	4,698
受取保険金	4,964	8,861
その他の	5,967	5,035
営業外費用	161,654	174,994
支払利息	69,862	91,038
社債利息	15,271	10,756
社債保証料	25,098	15,481
社債発行費償却	18,139	10,968
アミューズメント機器処分損	18,986	20,889
その他の	14,295	25,858
経常利益	178,863	116,626
特別利益	153,374	10,294
固定資産売却益	145,996	974
投資有価証券売却益	-	1,229
違約金収入	-	4,340
移転補償金	-	1,597
資産除去債務戻入益	7,378	2,091
新株予約権戻入益	-	61
特別損失	55,802	591,966
固定資産売却損	219	554
固定資産除却損	12,039	17,267
減損損失	21,915	402,515
アドバイザリー関連費用	-	20,784
解約等精算金	-	4,237
貯蔵品廃棄損	-	3,835
リース解約損	792	-
保険解約損	1,202	-
ゴルフ会員権売却損	500	-
子会社株式売却損	2,999	-
店舗閉鎖損失	16,134	2,033
事業構造改善引当金繰入額	-	137,889
貸倒引当金繰入額	-	2,850
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	276,435	△ 465,044
法人税、住民税及び事業税	26,103	30,350
法人税等調整額	△ 35,089	△ 10,555
当期純利益又は当期純損失(△)	285,420	△ 484,839

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。